

1. 単元名 バレーボール

2. 本単元における主体的・対話的で深い学び・学習評価の工夫

○ 主体的・対話的で深い学びの工夫について

初めて、バレーボールの運動をする生徒たちに、バレーボールの動画を鑑賞させ、バレーボールの運動をイメージさせる。整列からW-upまでの流れを生徒たちで行わせ、教師は見守る姿勢で行う。個人での課題解決、ペア学習でのスキルアップ向上の教え合い、グルーピングでの作戦会議でゲームの中でラリーが続けられるようになるための課題解決をリーダー中心に考えさせたい。グループで話し合う場面では、個人の考えを共有する時間と説明をまとめる時間を設定し、課題解決に向けて、対話的な活動を通して、誰もが納得できる伝わりやすい表現を練り上げ、学び合いが深まるようにする。振り返りを全体で共有するときは、グループで役割分担を決め、発表の工夫をし、自己解決できる手段を考えさせたい。

○ 学習評価の工夫について

学習評価については、各単元の技能の達成度、話し合い活動のようす、積極的な活動、発表、学習カードで評価する。

「運動についての思考・判断」については、学習カードに課題解決するための手段を記述させ、技術を身につけるための運動の行い方のポイントを理解しているかを評価する。

「運動の技能」については、空いた場所をめぐる攻防を展開するためのボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きができていないかを評価する。

3. 目標

運動への 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ○ バレーボールの学習に積極的に取り組み、フェアなプレイを守ろうとする。 ○ 分担した役割を果たそうとしたり、作戦などについての話し合いに参加しようとしたりする。 ○ 仲間の学習を援助するとともに、健康・安全に留意しようとする。
運動についての 思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ○ ボール操作や定位置にもどるときの動きなどの技術を身につけるための運動の行い方のポイントを見付けることができる。 ○ 自己やチームの課題を見付け、提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選ぶことができる。 ○ 仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた協力の仕方を見付けることができる。 ○ 学習した安全上の留意点を他の練習場面や試合場面に当てはめることができる。
運動の技能	<ul style="list-style-type: none"> ○ ネット型では、空いた場所をめぐる攻防を展開するためのボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きができる。 ○ 基本となる技能を用いた簡単なゲームで攻防を展開することができる。
運動についての 知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ○ 球技の特性や成り立ちや技術の名称や行い方について理解する。 ○ 球技に関連して高まる体力や試合の行い方について理解する。

4. 指導計画と評価計画 (総時数8時間)

主な学習活動・内容	指導・支援上の留意点	評価規準及び評価方法
<p>1. オリエンテーション</p> <p>(1) 学習内容の説明 ・バレーボールの特性、ルールやマナーを把握するとともに学習のめあてと進め方を理解する</p> <p>(2) グルーピング</p>	<p>○ バレーボールの特性、マナーやルールを理解し、安全に練習できるようにすること、学習のめあてや進め方を理解できるようにする。</p> <p>○ 生徒の技能の状況に応じて、バレーボールなどの用具の工夫も行う。</p>	<p>【知】 バレーボールの特性や技術の名称や行い方について説明することができる。(発言分析)</p>
<p>2～3. 基本的なパスの技能を習得する</p> <p>・オーバーハンドパス ・アンダーハンドパス</p>	<p>○ 生徒の習得状況を見ながら、オーバーハンドパス、アンダーハンドパス技能の向上のための練習に取り組む。</p> <p>○オーバーハンドパスの技能ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落下地点に入り、ボールは額の前でとらえる。 ・親指、人差し指、中指で三角形を作る。 ・顎を引く。 <p>○アンダーハンドパスの技能ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールに対してまっすぐ当てる。 ・腰を落とす。 ・腕を振らない。 	<p>【技】 オーバーハンドパス、アンダーハンドパスを狙ったところへ送ることができている。(行動観察)</p> <p>【関】 場の安全等に気を付けてプレイしようとしている。(行動観察、発言分析)</p> <p>【思】 チームの課題を的確に指摘したり、仲間に分かりやすく助言したりしている。(行動観察、発言分析)</p>
<p>4. ラリーが続けられる練習及びゲームをする</p> <p>【本時】</p> <p>・グループ練習</p> <p>(1)オーバーハンドパス、アンダーハンドパスの基礎練習</p> <p>(2)ネットをはさんだゲーム</p>	<p>○アンダーハンドパスとオーバーハンドパスのコツを確認し、グループでコツを教え合いながら練習させる。</p> <p>★課題やコツに気づけていないグループがある場合は、教師が助言し、話し合いや活動が円滑に進むようにする。</p> <p>○ルールの確認をしっかりと行う。</p> <p>○作戦タイムを取り、個人やグループの課題を考え、動きを修正するようにする。</p>	<p>【知】 チームや個人の課題を克服するための練習を考えて行っている。(行動観察、学習カード分析)</p> <p>【思】 チームの課題を見付け、作戦や練習方法を考えたり修正したりできる。(発言分析、学習カード分析)</p> <p>【関】 仲間と積極的に声をかけ合いながら、進んで練習やゲームに取り組んでいる。(行動観察)</p> <p>【技】 基本的なパスやボール操作</p>

<p>5. サーブ、スパイクの技能を習得する</p>	<p>○ 生徒の習得状況を見ながら、サーブ、スパイク技能の向上のための練習に取り組む。</p> <p>○サーブの技能ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールに体重を乗せる ・スイングをしっかりと行う ・ボールから目を離さない <p>○スパイクの技能ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3歩助走 ・上体を十分に反らす ・肘を高く上げる ・打つ瞬間、手のひら全体でスナップをかける 	<p>を身に付け、ラリーを続けることができる。(行動観察)</p> <p>【技】 サーブ、スパイクを狙ったところに送ることができている。(行動観察)</p> <p>【関】 場の安全等に気を付けてプレイしようとしている。(行動観察、発言分析)</p> <p>【思】 チームの課題を的確に指摘したり、仲間に分かりやすく助言したりしている。(行動観察、発言分析)</p>
<p>6～8. 身につけた技能を生かしゲームに取り組む</p> <p>○チーム練習</p> <p>○ゲーム</p> <p>○チームミーティング</p>	<p>○前時のチームミーティングの内容を考え、チーム練習に取り組む。(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーブのレシーブ練習 ・レシーブしたボールをトスする練習 <p>○個人やチームの課題の克服について考えたり、本時のチーム練習の内容がゲームに結びついたかなどを考えたりする。</p>	<p>【思】 チームの課題を見付け、作戦や練習方法を考えたり修正したりできる。(発言分析、学習カード分析)</p> <p>【知】 チームや個人の課題を克服するための練習を考えて行っている。(行動観察、学習カード分析)</p> <p>【関】 仲間と積極的に声をかけ合いながら、進んで練習やゲームに取り組んでいる。(行動観察)</p> <p>【技】 基本的なパスやボール操作を身に付け、ラリーを続けることができる。(行動観察)</p> <p>【思】 チームの課題を見付け、作戦や練習方法を考えたり修正したりできる。(発言分析、学習カード分析)</p>

5. 本時の学習 令和2年1月21日(火) 第6校時 体育館

- (1) 主眼 身につけたパスの技能を生かし、ゲームの中で仲間と協力してラリーが続けられるようにする。
 (2) 準備 バレーボール ポール ネット タイマー 学習カード
 (3) 展開

<p>主な学習活動・内容</p>	<p>○ 指導・支援上の留意点 【観点】評価規準(評価方法) ★ 特別な教育的支援を要する児童・生徒への特に困難とされる場面での支援のポイント</p>
<p>1. 集合・整列・出席確認をする。</p> <p>2. 準備運動・補強運動を行う。 ・腕立て、腹筋、背筋、馬跳び補助倒立、 ・ボールを使った運動を行う。 ① キャッチボール ② 直上パス ③ レシーブ</p> <p>3. 本時の学習内容とめあてを確認する。</p>	<p>○目視により生徒の顔色や健康状態を確認し、爪、服装点検、見学者の配慮を行う。 ○元気よく挨拶をさせる。</p> <p>○けがのないよう、しっかり行わせる。 ★基本となる技を行い、個別に配慮を要する生徒の把握をする。 ○バレーボールにおけるボール操作技能を高めることを意識した運動を取り入れる。</p>
<p>4. グループ練習を行う。 ・アンダーハンドパスとオーバーハンドパスの基礎練習</p> <p>・ネットを挟んだゲーム Q ボールを落とさないようにするためには？</p> <p>5. グループで出た意見を発表する。</p> <p>6. 本時のまとめ・ふりかえりをする。</p> <p>7. 片付け</p> <p>8. 集合・整列・礼</p>	<p>○アンダーハンドパスとオーバーハンドパスのコツを確認し、グループでコツを教え合いながら練習させる。 ★課題やコツに気づけていないグループがある場合は、教師が助言し、話し合いや活動が円滑に進むようにする。</p> <p>○ルールの確認をしっかり行う。 ○作戦タイムを取り、個人やグループの課題を考え、動きを修正するようにする。</p> <p>生徒の予想される発言</p> <p>・一本目は高く上げる。 ・お互い譲り合いしないように声掛けを行う。 ・カバーができるようにレシーブする人の後ろにポジションをとる。 ・コートの外にボールが出たときは体を内側に向けレシーブする。</p> <p>○けがの確認 ○大きな声で挨拶を行わせる。</p>